公 式 記 録

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

令和5年度兵庫県高等学校女子サッカー選手権大会　第3節　【 16 】

主審署名	小林　清訓

日 時	2023 年 10 月 7 日（土） 13 ： 30 キックオフ	会 場	みきぼうパークひょうご第1球技場				
天 候	晴れ　弱風	天然芝・人工芝・クレー	状 態	良好	試合形式	70 分 ／ 延長 0 分 ／ PK戦 無	
運営責任者		会場主任	笠原　弘樹	記 録	平家　義久 ／ 垣内　凌	観 衆	147 人
主 審	小林　清訓	副審1	芝切　淳	副審2	土井　博報	第4の審判員	

チーム名			チーム名
日ノ本学園高校 (kick off)	0	前半 0 / 後半 0 / 延前 / 延後 / PK戦	0	神戸弘陵学園高校
選手番号 / PK戦 ○× 先				PK戦 選手番号 先 ○×

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	延前	後半	前半	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	シュート 前半	後半	延前	延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					久田 優里愛 3年	1	GK	GK	21	岡村　陽生 2年					分	
	分					渡邊　絢音 3年	3	DF	DF	28	黒木　和香 3年					56 分	
	17 分					今井　双葉 3年	5	DF	DF	5	河本　法紀 3年					23 分	
	分					田村　來愛 2年	8	DF	DF	4	鷲見　優心 3年		1			分	
	分					稲垣　蓮 1年	24	MF	DF	17	大場　舞咲 3年					分	
	62 分					森實　葵 2年	4	MF	DF	2	橋本 ひなの 3年		1			分	
	分					岡林　柚葉 2年	11	MF	MF	7	中西　美羽 3年					分	
	44 分					本多　瑠己 3年	7	MF	MF	10	佐治　椋花 2年	4	4			分	
	分			2		藤原　良 3年	14	MF	FW	16	有木　心花 3年		1			71 分	
	分				1	上田 妃茉里 1年	17	MF	FW	3	藤井　結菜 2年					HT 分	
	分				1	小林　結望 2年	13	FW	FW	9	鈴木　梨花 1年	3	1			分	
	分					湯ノ口愛佑菜 1年	12	GK	GK	1	重松 あいり 2年					分	
	分					山崎　美波 2年	20	GK	DF	15	下条　真嬉 1年					分	
	分					磯野　美桜 3年	2	DF	DF	27	金　璃央 3年					分	5
	分					中内　咲那 1年	15	DF	MF	8	桂　菜乃 3年					分	16
5	分					大塚 理紗子 1年	19	DF	MF	14	兵頭　楓菜 3年					分	
7	分					高城　青空 3年	10	MF	MF	18	岡田 この美 3年					分	
	分					高橋 あすか 1年	16	MF	MF	20	富倉　光俐 3年					分	
4	分					木下　奈南 1年	18	MF	FW	11	山田　愛実 1年		2			分	3
	分					藤田　葵 3年	21	MF	FW	23	津野田 真桜 3年					分	28

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
14 分	警	5	今井　双葉	ラフ	4			2	2	シュート	7	10			17	48 分	警	9	鈴木　梨花	ラフ
分					16			10	6	ＧＫ	5	3			8	分				
分					4			1	3	ＣＫ	2	1			3	分				
分					2			2	0	直接ＦＫ	6	4			10	分				
分					1			1	0	間接ＦＫ	0	4			4	分				
分					0			0	0	ＰＫ	0	0			0	分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートＳ
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	

戦評者　所属【 三田祥雲館 】　氏名【 浅野 慎太 】

戦評

心地よい秋晴れの中、日ノ本３－６－１、神戸弘陵４－４－２の布陣で試合が始まった。日ノ本は、ＤＦラインから細かくボールを繋ぎ、両サイドを広く使った攻撃で神戸弘陵ゴールを目指す。対する神戸弘陵は、前線からプレスをかけてボールを奪い、速い攻撃で日ノ本ゴールを狙う。序盤から神戸弘陵９鈴木、10佐治が積極的にシュートを放ち、日ノ本ゴールに迫るが、日ノ本１久田を中心とした厚い守備を崩せず得点には至らない。日ノ本も左サイドの突破からチャンスを作るが、得点を挙げることができず０－０で前半が終了した。神戸弘陵は後半から11山田を投入し、さらに前線からのプレスに厚みを作る。後半も細かくボールを繋いでビルドアップを試みる日ノ本とハイプレスをかける神戸弘陵の構図は変わらないが、徐々に神戸弘陵の速いプレスがはまり始め、高い位置でボールを奪う回数が増える。神戸弘陵10佐治、11山田が後半も積極的にシュートを放ち、日ノ本ゴールに迫ると、54分、57分に立て続けに決定機を迎えた。しかし、ともに決めきることができず、スコアレスのまま試合は進む。日ノ本も、神戸弘陵のプレスをなんとか突破しようとするが、なかなか前線へボールが運べず、０－０のまま試合終了。お互いにボール際の激しさが目立った好ゲームだった。神戸弘陵の関西大会での活躍に期待する。